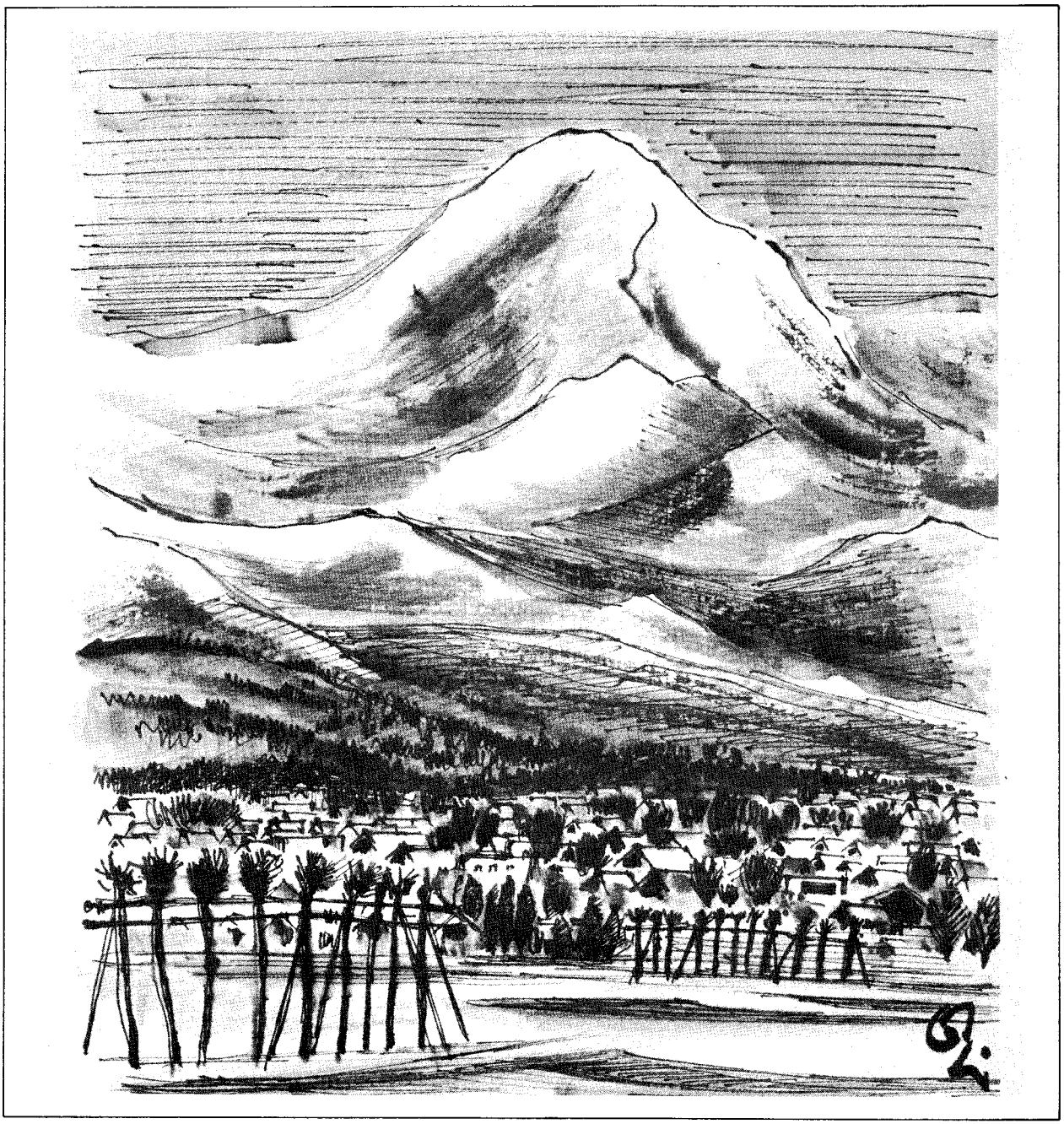
臥龍が丘は緑なり

松高同窓会東京支部会報

平成元年新春号



山が三度白くなると街にも雪が降る，白山の春夏秋冬折々の衣替えは美しい。

新潟県立村松高等学校同窓会東京支部　No. 6

平成元年新春号目次

ごあいさつ　新年雑感 …… 支部長　佐　伯　益　一…1

卒業おめでとうございます …… 2

部会を設置いたしました…… 2

東京支部大会の歩みを知りたい …… 芳　賀　健　一…2

表紙ができるまで …… 4

〝赤山会〟例会 …… 5

思い出の写真館 …… 6

お便りの中から …… 7

蒲原鉄道物語 …… 高　地　　覚…8

健康な一生を送ろう …… 広　報　部　会…11

寄稿　古稀になるまで …… 亀　嶋　　謙…13

寄稿　軍の思い出 …… 水　尾　広　吉…15

（表紙について）

郷土の霊山〝白山〟の絵である

作　　者　　江口　昇氏（1933 村松町生）

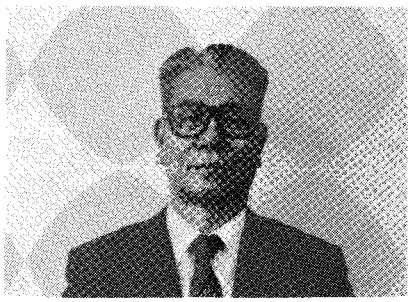
略　　歴　　松高３回生，新大卒，松高勤務，新潟県美術連盟会員，新日本美術院会員

アトリエ　　中蒲原郡村松町甲 7,200 番地

Tel （02505）8－6576

謹んで昭和裕仁天皇のご冥福をお祈り申しあげます

ごあいさつ



――新　年　雑　感――

東京支部長　佐　伯　益　一

1989 年の新春を迎え，早や２ケ月を経過いたしましたが同窓並びに関係各位には，お変りなくお過しの事とお慶び申しあげます。

裕仁天皇のご崩御によって昭和64年も僅か１週間で平成と年号が変りました。激動の昭和の時代を生きぬいてきた多くの皆様にとって，平やかに成るというこの新しい年号を，いろいろな感概を持って受けとられ明日への期待を心の中に持たれたことと存じます。

世情的には，リクルート問題，消費税導入といささか腹にすえかねる事柄が多い本年ではありますが，我々松高同窓会東京支部では信頼と友好の絆を深くし，支部を大いに発展させてゆきたいと考えております。昨年は恒例の支部大会を大成功の裡に終了させることが出来，先輩，後輩と楽しく語り合う機会を得ました。これはひとえに役員各位の御努力と同窓各位の御協力のおかげと感謝申しあげております。さて，ひるがえって吾が松高一万数千名の卒業生を考へてみますと戦後卒業の同窓が多くなり旧中最後の卒業生もすでに齢60才を超えております。自適の方もおれば又，実社会に於てますますの御活躍をして居られる方もたくさんおりますが，高校卒の皆さんもこれに劣らず社会の重鎮として活躍されていることを思えば，これからの同窓会活動は，数から言っても，又行動力の面から言ってもこれからは高校卒の皆さんに頑張って貰わねばならぬのではないかと痛感しております。

あと２年後には母校創立80周年を迎える事でもあり，又それを記念して本年２月立派な卒業生名簿も発刊されました。私共ではそれを基にして，どんどん埋れた人材を堀りおこし，常々申しあげております人と人との付き合いを大切にし，コミニケーションを行い，人格啓成を図り情報を交換すると共に自己及び周囲に役立って頂きたいと念願いたしております。

その意味に於て東京支部では，昨年末，幹事会の中に組織委員会を設け，総務，財務，広報，企画の各部会を置き夫々の立場で活躍して頂く事が決定いたしました。役員の皆さんには会合や資料収集等について，時間的，経済的に少なからぬ犠牲を強いているわけでありますが全く良く働いて頂いており感謝の他ありません。

母校本部会報〝松城〟３号にも書かせて頂きましたが，今年は己年，蛇だって時節が来れば脱皮します。私達といたしましても昭和から平成へと変ったこの時期をとらえ，新たな発想を興し，吾が同窓会をより多くの人々に参加して戴けるようにしてゆきたいと念願しております。各位の御健勝と御多幸を祈念いたしますと共に本年も何とぞよろしくお願いいたします。

◉卒業おめでとうございます。

松高本年度卒業式は　3月1日
卒業生は　男子98名　　女子　普通科135名　被服科　31名　合計269名です。

◉部会を設置いたしました。

母校，村松高校ではあと2ケ年後にひかえた創立80週年記念行事に対して活発な動きを起しております。それに呼応し東京支部でも卒業生会員の掘り起し，コミニケーションを図ると共に同窓会本来の目的を達成すべく，日夜努力を重ねている処であります。母校では，このたび大規模な名簿が80周年を記念して発行されました。卒業生同志の交流に大きな役割を果す事を期待すると共に，それを最大限に活用する事が同窓会の現今の最大の急務であろうと考えます。従ってこの名簿を基に新たな会員を掘り起し新しい隣人を得る為に，東京支部では昨年暮の幹事会（63. 10. 22）で所謂，実践部隊として次の四つの部会を設置する事を決定致しました。各部会の主たる職務と決定した役員は次の通りであります。

◎印は部会長　　○印は副

① 総務部会　　◎斉藤　和夫（中33）
　　○小林　早月（女25）

主として，名簿管理，会議，庶務一般等

② 企画部会　　◎佐久間英輔（高6）
　　○鈴木多喜男（高4）

主として支部会員のレクリューション，旅行，催事等の企画。

③ 広報部会　　◎沢出　赳允（高6）
　　○深見　洋子（高7）

主として支部の広報宣伝，会報の編集，発行，情報収集等。

④ 経理部会　　◎芳賀　健一（中33）
　　○岡本　和子（女25）

主として会計収支事務，予算決算，支部会費の徴収等。

以上四部会を総称して組織委員会と称し，組織委員長には佐伯支部長（中27）兼任，副には伊藤勇五（中33）事務局長には中村事務局長（中22）兼任と各氏が夫々決定いたしました。

尚各部会のメンバーで決定したのは広報部会のみで他の部会は只今人選を急いでおります。

何卒よろしくお願い致します。

◉東京支部大会の歩みを知りたい。

東京支部の大会が毎年，回を重ねる毎に盛大になってゆくのは大変喜こばしい事です。

東京支部役員の仲間にいれて頂いてから，さて，本年の大会は，はたして何回目の大会だろうと常に，興味を持っていたので改めて調べてみました。その結果，判った事は別表の通りです。

私は旧中最後なので始めの頃は良く分りませんので資料等をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非お願いしたいと存じます。支部事務局か佐伯支部長又は私まで御連絡を頂ければ幸いです。（旧中33回，幹事，芳賀健一）

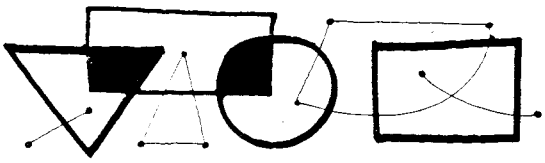
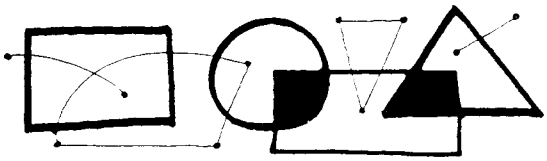
記

- 昭，37. 11. 8 日（木）午後5時半
  銀座薬業会館地下〝ロンドール〟近藤潮支部長，
- 昭，45. 5 26 日（火）午後5時半
  銀座松坂屋地下〝オアシス〟成田均支部長
- 昭，47. 5. 12 日午後6時　日航ホテル〝スカイルーム〟斉藤一男支部長，桜井長一郎出演
- 昭，49. 6. 7（金）午後6時〝オアシス〟出席96名
  キングレコード，竹下あつ子（新潟）
  柳家さん吉（村松）出演，抽選会
  49年度名簿発行　水尾正二支部長

◦昭，50. 6. 20（金）午後6時　市ケ谷〝加茂〟
水尾正二支部長
◦昭，51. 6. 27（日）午後2時半
永田町〝ホテルニュージャパン〟
◦昭，53. 6. 30（金）場所不明，53年度名簿発行
◦昭，54. 5. 25（金）午後6時　市ケ谷〝加茂〟
見方謙策支部長
◦昭，55. 6.　6（金）　〃　市ケ谷〝加茂〟
◦昭，56. 7.　3（金）　〃　市ケ谷〝加茂〟
◦昭，57. 6. 11（金）　〃　市ケ谷〝加茂〟
◦昭，58. 6. 10（金）　〃　〝東条会館〟
見方支部長より佐伯支部長に替る。
◦昭，59. 6.　8（金）午後6時　〝東条会館〟
佐伯益一支部長
◦昭，60. 6.　8（土）午後5時半〝ホテル高輪〟
◦昭，61. 6. 14（　）午後5時半〝ホテル高輪〟
東京農大プラスバンド部出演，支部名簿発行　出席120名
◦昭，62. 6. 27（土）午後3時半〝日本鋼管高輪クラブ〟
キングレフード　新川ひろみ（三川）出演
抽選会を行う，出席103名
◦昭，63. 6. 11（土）午後3時半〝ホテル高輪〟
ビクターレコード，西田みどり（村松）出演
抽選会を行う，出席113名

以　上

間違いがありましたら訂正をお願い致します。尚当時の支部長さん，出席者数などもご存知でしたら是非お願いいたします。
何とかまとめてみたいと考えておりますので。

建設機材綜合商社

関東資材株式会社

代表取締役　佐久間　英　輔
（高校第6回卒五泉出身）
小山地区新潟県人会会長

本　社　〒323　栃木県小山市駅南町6－22－3
TEL　0285－27－1931（代）
宇都宮営業所　〒320　宇都宮市江曽島1－9－3
TEL　0286－58－6181（代）

各社アイスクリーム
冷凍食品・清涼飲料卸

有限会社　**越後食品**

代表取締役　石黒四郎
（高9回卒）

会　社　東京都世田谷区岡本1－28－20
TEL　417－5110（代）
自　宅　東京都狛江市岩戸南2－14－14
TEL　488－2117

表紙ができるまで

会報第６号，新春号にふさわしい表紙をきめるに当って，白山の絵を採用することにしたが，その経過について佐伯支部長と，作者の江口氏（実は同窓であった）との心あたたまるお便りを是非ご紹介したいと思います。

謹啓，はじめて御意を得ます。

突然のお便りでさぞお驚きの事と存じますが，私は旧県立村松中学校卒業生（昭和17年）で，５年程前から村松高校同窓会の東京支部長を勤めております。早速ですが昨年６月から東京支部で同窓会の会報を発行しょうということになりまして，現在第５号まで発行済であります。来春早々に第６号を発行することで只今広報委員会で編集を急いでおりますが，第６号新春号の表紙に郷土の霊山，白山の写真を載せようということで各方面を物色しておりましたが仲々適当なものが無く困惑しておりました処，役員の一人堀直昭氏（村松藩堀家末孫）から御貴殿制作の63年度カレンターに優秀な絵があるとの連絡をうけ早速コピーを送って頂き拝見いたしました。

仲々迫力のある立派な作品で感激いたしました。是非使わせて頂きたいと考えましたが版権もあることゆえ一応御貴殿の御承諾を得なければと思い御書面を差しあげることになりました。御快諾を頂ければ在京同窓の方々も大いに喜こぶことと存じますので，何卒よろしくお願い申しあげます。

諾否の御返事は御面倒でも同封のハガキにてお願い出来れば幸です。

参考までに支部会報〝臥龍が丘は緑なり〟第４号，第５号を同封いたしましたので御笑覧下さい。

尚御貴殿の御住所は堀氏を通じ村松在宅の郷土史家佐藤久氏にお願いして調べて頂きました。

末筆となりましたが本年もあと僅かです。呉々も御自愛の上貴家御一統様めでたく御越年の程御祈念申しあげます。

敬具

63. 12. 15　　佐　伯　益　一

江　口　　昇　様

拝復　先日は御丁寧なお手紙を戴き恐縮しております。

早速ですが使用して頂く事光栄に存じます。

実は私は松高卒３回生です，それに今年五泉高校から転勤して松高にきました。理科で生物を担当しています。画は高校の時から描いていますが人様にお見せするようなものでないのです。一応，新潟県美術家連盟会員，中央では新日本美術院会員で昨日上野の東京展からかえって来たばかりでした。日本画・洋画・工芸と県展はずっと出品してきました。

霊山，白山は今雪を頂き郷土一番の象徴として健全としています，かって多くの卒業された諸氏の懐かしい思いが其処にあると思われます。

本年の暦の作品は簡単に描いたものでご期待にそえるかどうか，もし期限がゆるされるならば，今の季節の白山を描いてもかまわないのですが折角ですので――――間に合わなければどうそつたない作品ですがご使用ください，有難うございます。

関係の　堀様　佐藤様に宜しくお願いいたします。

同窓会のお仕事大変ご苦労様です，現在の松高，１年たったばかりですのでよく解りませんが，母校でもあります，せいいっぱい勤めたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

1988年も余すところ僅かになりました。

良いお年をお迎えください。

同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

江　口　　昇

前略，先日は失礼しました。

その後，折角のことですので，色紙とコンテをもって，簡単に描けるだろうと放課後，松高から川内方面に行きました。数日前思いがけない大雪に見舞われ，積雪40cmを越しましたものですから，川内の夏針にいたる道路かから見渡す白山を始め菅名岳，てれに付属している小さ

な山々は白い塊ですばらしい景観でした。

山峰の数々，重層の曲線美，白色に青色そして真黒の点々は山を一層鮮やかにしていました。暫く景観に見とれたほどです，ところが肝心の白山の頂天，頭が雲に隠れていて画は描けませんでした。

翌日，行ってみました，生憎同じでした。いつも見なれていながら晴れの待ち伏せを食うのが皮肉と言えば皮肉でした。今更ながらの驚きでもありました。

白山は標高1,100 mと聞いていますがどっかと腰を下ろし四季折々衣を変えて着飾り，風のあるときは大きく目の前に，晴天の時は遥に遠く，特に冬は町の人々に降雪をしらせる時計です。

今日描いた場所は川内の深沢部落の真ん中付近からです。右方には大堤，左方には下阿弥部落，画中の部落は夏針部落でカヤブキと昔懐かしい梯子型の半鐘があったところで積雪が多くなると何処が道なのか一見迷うような山添の部落です。

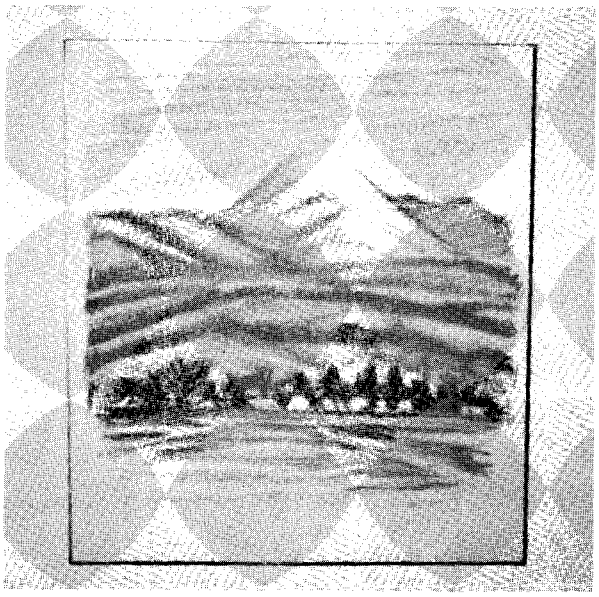
つたない画になりました。間に合うかどうか色紙にコンテで描いてみました。

今日は朝から晴れるでなし降るでなし，ぐづついています。同窓会の益々の御発展をお祈り申し上げます。

良い御年をお迎えくださいますよう，失礼いたします。

佐伯　益一様

12月27日　　江口　昇



"赤山会"例会

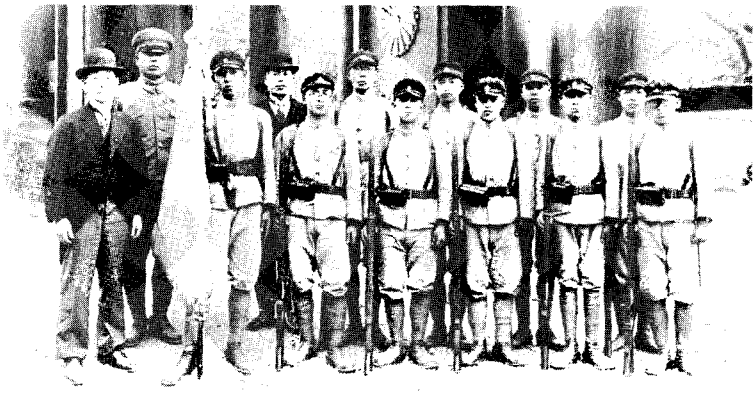
昭和63年最後の赤山会例会が11月21日午後6時より，市ケ谷"私学会館"に於て開催された。出席者は初参加の人を含めて29名であり，亀嶋会長のあいさつの後，懇親会に入った。途中，佐伯支部長より母校同窓会本部の活動につき報告，説明があり全員，母校の動きを良く知ることが出来た。会は盛況の内に進み，お互いに談笑すること約2時間余，午後9時，全員次の再会を約しての名残り惜しい散会となった。

（写真提供，渡辺文男氏）

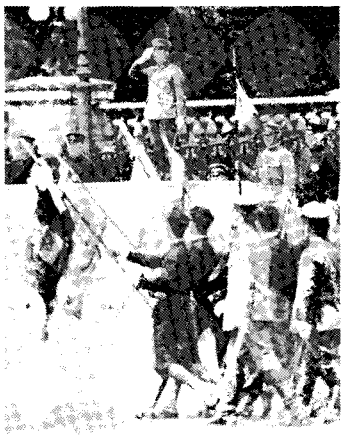
思い出の写真館

秘蔵写真をお貸し下さい

御親閲拝受記念



那須校長　故大槻少尉　村川真平　故斉藤教諭　故矢部孝次　佐藤収吾　故小山昌一　故佐藤辰雄　皆川虎一　故大貫芳雄　故斉藤幸一　今井国弥　中野繁雄



▶昭和14年5月22日，全国学生生徒代表御親閲式で，青少年学徒に勅語があった。皇居前広場・二重橋前で。

陸軍現役将校学校配属令公布15周年記念事業の一つとして，昭和14年5月22日，宮城前広場において全国中等学校以上の学生，生徒に対し，天皇陛下から御親閲（分列行進による検閲，閲兵）を賜った。

参加者は，全国学生生徒代表並びに教職員共約3万5千5百名であった。わが村松中学校から，那須校長以下計13名が参加した。

（旧中第25回生徒五年生10名，昭和14年5月22日靖国神社で）　（斉藤朝之氏蔵）

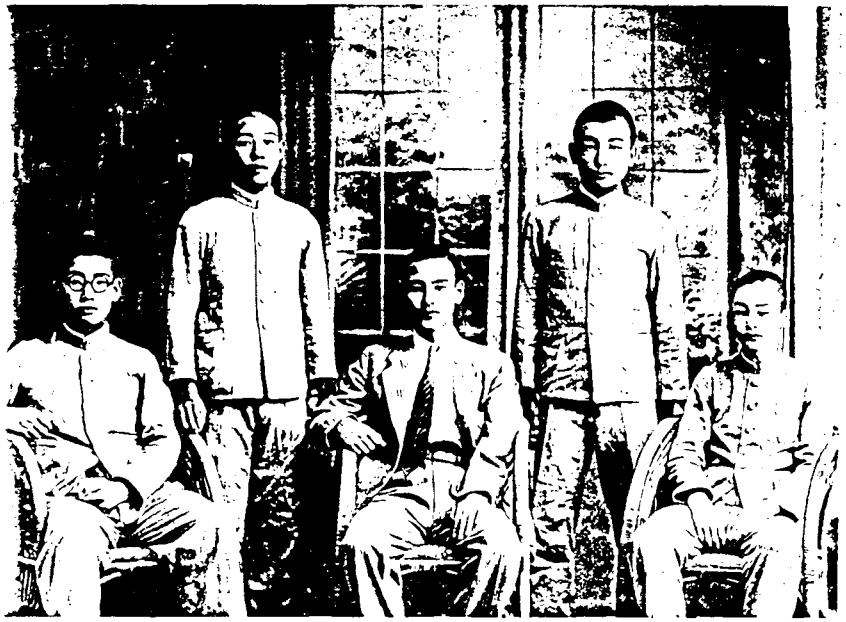
大正末期，軍縮実施により陸海軍の軍人がずいぶんと余ったらしい（特に陸軍の将校）その失業救済の一環として中等学校以上の学校に配属し軍事教練を強化していったとの説もある。因みに当時の文部大臣は陸軍中将荒木貞夫であった。

村松芸妓さんの仮装行列記念

昭和10年ごろの女性の服装は，女学生を除き一般には着物姿であった。もし，女性が洋装で町中を歩けば，人々は大いに驚き振り返って見る。この写真は，町民の仮装行列に参加した芸妓さんの洋服，洋装姿を写したものである。

戦前の芸妓さんは，三味線で長唄や端唄の弾き語りもできるし，また日本舞踊も上手にこなす文化人（？）であった。きむらやか，えびやに出ていた芸妓さんと思われる。もし健在ならいずれも80歳以上であろう。

（昭和10年ごろ，村松公園にて）（斉藤朝之氏蔵）



昭和13 年夏、出雲崎、角田浜における海浜学級の折の記念撮影（26 回福原平八郎氏蔵）

左から　西山力雄　井上研二　高橋先生　木村大三　福原平八郎の各氏

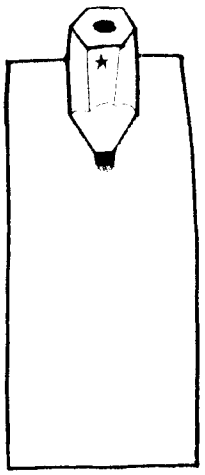
お便りの中から

切手とビール券を誠にありがとうございました。小生毎晩夕食前にビール一本ほど飲んでおります。（一週間に一度は酒一合）もう二十年ぐらい続いておりますが，非常に体調が良く，毎日を健康で愉快に過しておりせす。

さて，今後の会報の写真ですが，そろそろ目玉的なものは終りに近づいてきております。次はどれにしょうかと思案中です。諸先輩のために，卒業写真を複製し，それを事務局において有料で配布するというのはいかがなものでしょうか。もしよろしければ，ネガと複製写真一枚（見本として）をお送りします。ネガがあれば，事務局でいくらでも焼き増しができます。

どうぞゆるりとご検討のほどお願い申し上げます。

重ねてこのほどは沢山にありがとうございました。



敬　具

平成元年二月二日　　斎藤　朝之

佐伯　益一様

蒲原鉄道物語り

蒲原鉄道の軌道（三）

旧中22回　高地　覚

村松停車場問題　株式の公募が進むうちに，村松停車場の設置場所を巡って創立発起人迄巻き込む対立が生じてしまった。

会社の目論見では駅舎を横町に置き，此処を起点に五泉迄略一直線に線路工事を進めれば工事費の面でも経済的であり，又用地獲得も容易であると判断したのに対して，村松上町以南の発起人や町民からは今少し町内に線路を延長して，仲町に停車場を設けるよう要望が出た事に依るものであった。

上町以南組は猛烈に運動を起し，証拠金の払い込みを延期し，結束して貫徹に努める処であった。

之より先，朝比奈より線路実測として鈴木源太郎，田村真太郎その他技術員を派遣して7月25日に着手して，8月22日に終了していた。

8月12日に発起人総会を開き，募集成績，停車場候補地に付いて協議し，8月20日附を以って未払込発起人に対し9月4日迄払込の通知を発する事とした。

9月5日，地元発起人会を木村楼で開会し，株式未払込者に対する処分と資本金の減額の件を9月22日の創立総会に提議する事とし，9月7日付を以って一般申込者に通知を発送した。

明治32年に新潟迄信越線が開通したのであるが，沼垂町と新潟町とが停車場の位置を巡って激しく対立を生み出し，遂に30年初冬に爆烈弾事件が発生し，新潟派の数人が栗ノ木川鉄橋と竜ケ島に停車中の機関車と貨車に爆弾を仕掛けて爆発させた事があったが，何処でも深刻な対立が起るものである。

創立総会　遂に会社の創立総会が大正11年9月22日午後1時から村松町の海老楼に於いて開催の運びとなり，難産の末蒲原鉄道が誕生した。

総人員は171名の所，出席人員97名（内委任状27名）であった。

決議事項として，発起人で証拠金の払込みをしなかった12名を除名する。資本金額を25万円に減額設立し，株式総数を5,000株とした。

取締役に茂野誠衛，服部暢平，村川名平，水野辰作，松尾名平，樋口俊太郎，茂野弘作の7名，監査役に石本儀栄門，神保秦一郎，滝沢真五郎の3名が選任されて就任した。

設立費承認の件では，取締役，監査役よりの報告となるが，発起人中より選任されたので，別に朝比奈林之助，川瀬広吉を検査役に指名して，調査に入り報告した。

停車場位置は横町北端県道東側に決定したが，本案を推進する為進められて来た58名の署名簿も提出されている。創立費は2,345円10銭，株主は村松87名，菅名32名，川内11名，大蒲原9名，長岡8名，十全7名，五泉6名，川東3名，その他8名計171名となり，村松に58.92％の2,946株となり，茂野誠衛は700株で筆頭となった。同日重役会で株主朝比奈林之助，白勢春三を推薦した。12月25日に第2回株金払三通知書を発送したが，11月28日から株券が証拠金領収証と引き換えに渡され始めた。

工事の着工　10月15日から用地杭打として技術員南場善作が来町し18日に完了し愈々工事に着工した。

11月20日には電動機械及び電車が東洋電機製造（株）に発注され，電力需給契約を新潟水力電気（株）との間で締結した。

用地は村松停車場1,038.50坪，五泉停車場679坪，線路用地は6,801.50坪となった。

大正11年3月26日，村松停車場用地に於いて地鎮祭を挙行後直ちに鍬入れを行って引き続き工事に着手した。

漸次農繁期が迫って居り，請負者を督励して土工竣工を急いだので5月末には概ね線路の築立出来たが，天候不良，雨天続きの為進捗せず止むなく契約期日を延長して竣工は8月末となってしまった。

職員は主任技術者（嘱託），工事監督，書記，雇員の4名で当って居た。

相談役の朝比奈林之助は3月5日に，7月27日には，取締役松尾名平が死亡し，私立鉄道の開設を提唱し，尽

瘁されて来た功労者であったが，開業を目にする事は出来なかった。

大正12年6月26日に今泉停留所設置に付いて石本儀栄門外55名の連署願出がなされた。

6月28日に日本車両（株）東京支店に10屯積貨車2両が発注され，7月13日には変電所機械類が五泉駅に到着した。

大正12年には9月1日関東大震災が発生したが，震災後自動車が急速に普及して来る事になるが，大正13年1月18日に東京市バスが開通し，震災で壊滅した市電に代る交通機関として，登場し「円太郎」と呼ばれた。

8月4日に村松停車場本館建舞し，8月7日には電車2両が五泉駅に到着し，愈々多忙となって来た。

8月14日に下町青年団に依頼して，電車を押したり，引いたりで賑々しく村松停留所に運搬されたものであった。

10月4日に竜田工場でボンド取り付け作業に着手し，19日に鉄道省監査を終了し，電車の試運転を行う事が出来る迄になった。

10月20日には逓信局の監査を終了して，最初の計画から5年の歳月を経て，愈々，五泉・村松間4.2粁の開業を見たのである。

11月11日に貨車2両が到着し，貨車直通認可され，運転開始後，軌道の整理，砂利打込みに努め，電車線路の保安施設，全線路に亘って部分手入れを加えて安全を期した。

運転開始後，村松停車場構内が狭隘となり，地続き用地196坪を買収して埋め立てられた。

蒲原鉄道の開業　大正12年10月20日，東京目蒲電車と同型のモタンな1号電車が万国旗でデコレーションされ，モーターの音を響かせて村松を発進し，その響きは現在も続いている。

11月末日の決算期で僅か42日間の営業日数でしかなかったが旅客は33,978人（1日平均809人），運賃4,171円88銭，その他収入386円15銭，1日1哩平均87円65銭となり，貨物屯数は7.71屯，運賃596円93銭，1日1哩平均5円46銭であった。五泉・村松間の運賃は16銭で，米4合8勺に当った。「予想以上の良成績となる事は自他共に認識する所にして，如何に本業が地方に適切たりしか証するものならん。貨物の運送に付いては発着共にこれ又旅客以上の輻輳にして，貨車配給の不如意より滞貨激増の傾向を見るは誠に遺憾とする所なり」と報告して居り，第1次大戦終結による戦争景気の反動不況，白滝鉱山の営業不振に加えて，停車場問題，株式応募等困難な諸問題に遭遇して来たので，此の開業と好成績なスタートはどんな感激であったであろう。

増車及予算減れの工事の為資金不足を生じ，一時借入金として22,704円22銭が借り入れられたが，因に益金は2,470円93銭で資本化9分9厘であった。

期末の職員は庶務2名，運輸14名，変電所3名，保線6名の合計25名であった。

政府補助金に付いては，成績が良好であり且本省では震災の為め一切の書類を焼失した為と災害による復旧費が必要となった為に成るべく補助をし度くない方針であり，営業日数も短日月であり，10ケ年間何時でも成績不良で利益率7分に達しない場合は受けられるとの見解から申請を見合わせた。請願のあった今泉停留場は，設備に必要な費用は総て地元負担として受け入れ，本屋停留場は設備しない事にした。

大正13年1月1日より村松・五泉間の郵便物運送取扱いを始め，連帯運輸に関する保証金6,800円を日本銀行に供託している。

大正13年4月12日，村松駅構内に於いて開通式を挙行し，午後記念公園の桜花の下で祝賀会を開催した。

当時4歳位であった私には余程強烈なものだったのだろう。花電車や構内の賑いが想い出されるのである。

順調な業績　開業後，初めて観桜期を迎えたのであったが，乗客の雑踏は予想以上で，全能力を尽しても尚乗客に満足を与える事が出来なくなり4月17日より11日間，鉄道省より客車2両を借入して連絡使用した程であった。

電車運転上頗る懸念した雪国の宿命とも言う，降雪期では3回運転休止をし，除雪人夫も3回使用して回復を図り費用は170円余であった。

降雪期と観桜期と年間の多客期を含んだ1ケ年の営業成績を見ると次の通りと好成績であった。

旅客人員　149,230人　運賃　19,990円88銭　1日1哩平均　46円15銭

貨物屯数　4,992.3屯　運賃　3,392円04銭　1日1哩平均　7円13銭

大正13年上期では，旅客の1日1哩平均収入に対前期

比4円41銭，貨物では1円67銭増と好成績で益金は8,254円37銭となり，一般的不況の中にあって初めて年5分の配当金と役員賞与金と利益処分をなし，各期年5分の配当は続けられた。

鉄道用地の所有権移転登記の諸手続を司法代書人，増井重徳，伊藤菊次の両氏に委任している。

運転事故は，新潟水力電気（株）の工作物故障の為の運転休止が散見されて来るが，暴風の為め樹木倒れによる送電線故障が発生して来たので変電所職員も一挙に7名に増員されて来る。

大正14年1月22日に補助申請し，5月12日に認可され1,671円83銭は借入金利息1,563円76銭を十分賄う事が出来る様になり，大正14年下期より配当金は年6分となり，大正10年12月13日，日米英仏の四ケ国条約（ワシントン軍縮条約）に調印され，軍都村松としては，常に軍縮の影響は営業上の打撃は少なからずとして，慢性化した不況の中，営業費の節約に努めつゝ，良い業績を続けられた事は欣幸とするものである。　（以下第7号）

（元蒲原鉄道常務取締役）

株式会社　多摩電子

代表取締役　大橋貞夫
（高校10回卒十全出身）

本社　〒158　東京都世田谷区等々力3-18-8
電話　03－701－1147
自宅　〒158　東京都世田谷区玉川4-20-8
電話　03－709－1570

医療機器・健康機器販売

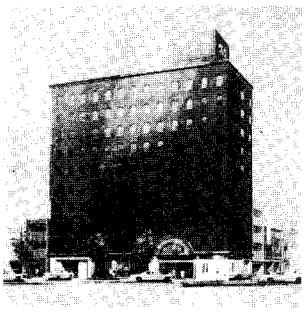
株式会社　ツルマキ
MRC事業部

〒113　東京都文京区本郷3－41－10
TEL　03（818）6448

代表取締役　鶴巻浩
（高校10回卒村松町馬場丁）

自宅　東京都北区豊島5－5－5－306
TEL　03－912－6470

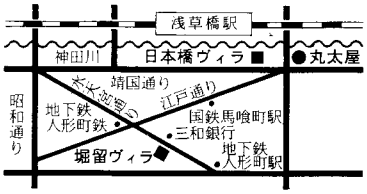
ビジネスに
2つのヴィラ



●日本橋ヴィラ
東京都中央区日本橋馬喰町二－二－一
電話（〇三）六六八－〇八四〇

●堀留ヴィラ
東京都中央区日本橋堀留一－一〇－一〇
電話（〇三）六六四－〇八四〇

● シングル 6,500円より（税・サービス料込）



BUSINESS HOTEL ヴィラ

丸太屋株式会社

〒103　東京都中央区東日本橋2－26－8
電話　03－862－0681

代表取締役副社長　塚田勝
（高8回卒）

自宅　浦和市原山4－23－12

村松老人が語る

※健康な一生を送ろう!!

広　報　部　会

この世の中，あまりの科学の発達の為か，人間様がついて行けなくなって，とうとう，汚染されつくしてしまいました。このまゝでは困ったことになってしまうと日夜考え続け，はたと思いついたのが，ホラ，あの物知りの村松老人に，昔まだ自然が生きいきとしていた頃の日常の過し方や病気にならない為の注意等昔の智恵を語ってもらったら，と言う事で，早速行ってまいりました。いやその話の面白い事。又本当に物知りで，当り前でも普段忘れている事等を，さまざま語って下さいました。

「いやいやあっちゃぃとこ，よくまあ来なしたね。さーさ上ってくんなせや」と村松老人，庭に面した涼しい部屋に，私達は通されました。

「実はの，おれも年だすけ，だいぶ忘れかけているども，良いはなしがいっぱいあるんだでば。おまん達からの話はほんに丁度いかったて」とさっそく話好きな村松老人。外の暑さは嘘の様に涼しい風が入いって来ます。

「ところで，おまん達は健康健康って言うども，自分のからだがどげんな風になっているか考えた事ありなさるけね？　まあ，なんかねば，からだなんてあんま考えのて，無意識に過ごすのが普通だわね。疲れたり，病気になったりすれば別だども……。いいけね，まずからだがあって，そのからだには「健康」かいるがんだすけ，自分のからだの働きや状態をよう知らねば。じゃ，からだの働きを〝臍から下〟〝臍と心臓の間〟〝心臓から上〟と三つに分けて話そうかね。一つ目の臍から下のエネルギーは「生きる」力の中心になるがんさ。からだの全ての機能，この全てと言うがんは，手・足・目・鼻，内臓・神経など人間のからだの内と外，みーんなのことだども，全ての機能を働かせる力の素になるがんさ。だすけ，この臍から下の力のつええ人は，活動型で今流に言えばネアカ人間かね，そうそ，角栄さんが典型だて。次の臍と心臓の間のエネルギーは何だかって言えば，燃やしたり，暖めたりするがんだども，言い換えれば，臍から下で得たものを，良く消化させる〝火〟の役目をしているがんだて。ここの力の強え人はだいたい中庸型だわね。おしまいの心臓から上のエネルギーは〝水のエネルギー〟と言うて，水ってのは，物を溶かしたり，混ぜたり，結びつけたりするろう？　つまり，こねまわしたり，考えたり又接ぐ，包むなどの働きをするがんさ。この力の強え人は思索型，ネクラ人間が多い，と，こうゆうがんだて。わかりなしたけね？　簡単に言うと，臍から下の力で生活の基盤を作り，臍と心臓の間の力で，良も悪るも成長させ，心臓から上の力で又，良うも悪るも結果となる。と，こうゆうがんだて。」

「なる程，すると健康であると言う事は，肉体と内臓とそして精神も健康でなければならないと，こう言う事ですね」。

「そうゆがんだ。いい事言いなさるねっけね。そこでもう一つ，〝いのち〟とはどんげなもんか，改めて考えねばの……。いのちってのは肉体，感覚器官・精神・魂の三つから成り立ってるがんだよ。この三つと言うのが大切ながんで，大抵の人はいのち即肉体と単純に考えがちだわね。他の二つは見えねもんだすけ，魂？　そんげなもんホントにあるのだけね？　なんて言う人が多ぜいいなさるわね。

ところで，いのちには栄養をやんねばなんねろ。肉体へは口から食べる食物だわね，感覚器官・精神に与える栄養は一言で言えば「善行」だて。人の為になる行為は勿論，人えの思いやり，家族を愛する気持，そんげな心の良い働きも含まれるのだよ。それと考え方を良い方向へ，前向きに働かせる事も，精神への栄養だて。そして魂への栄養は熟慮，即ち良く考えると言う事，こうゆがんだども。」

「うーん。考えて見ると本当に我々は，肉体中心に生活して居ますね。考えさせられます。――すると，健康食品，自然食品がブームになっている現象は？……」

「それそれ，健康食品は悪るねえども，あく迄も肉体の事だけ考えたもんだすけね。それだけじゃ次元の低い

い健康ブームだがね。そんげな事では，行動力はあるども，動物本能丸出しの人間や，すぐカッとして喧嘩っ早い暴力人間を育てる事になってしもうがんだ。栄養は，精神や魂にも同じ様にやんねばなんねがんさ。肉体と感覚器官・精神そして魂の三つが，いっちやいい状態で働いている事が，本当の健康なんだてば。

もう一つ大事なことだすけ聞いてくんなせや。これ迄は体の中に色々取り入れる話だったども，それが消化，吸収されて最後にはカスが残るろ？　老廃物だわね。これを肛門や尿道からきちんと出すのが大切ながんさ。カスは糞尿だけでのて，後味のわーり感じとか，後悔の気持なんかは精神的老廃物だわね。又疲労は肉体的な一種の老廃物と言えるすけ，そんげなもんは，いつ迄も大切にしもておかのて，さっさと出してしまうのが良いがんだて」。

「えゝ，そうに違いないでしょうけど，仲々上手く行かないですよ」

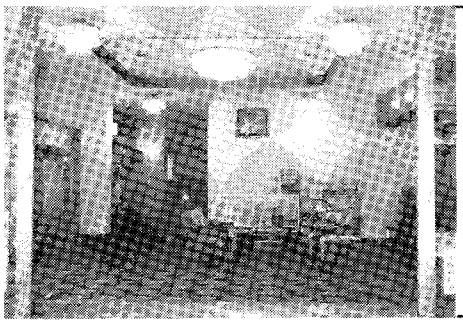
「ハハー，おまん達には精神修養が必要だこてね。まず「身体と生命」をしっかり意識して，今の自分の体力をもっと強よして，活動力を高め，前向きの考え方をして，優秀な子供を作ったりしてさ，そいで，病気を寄せつけず，老化を遅らせ，長寿を追求する。これが本当の「健康を考える」と言うこんだし，又，予防医学につながるんだて，だすけ，良い一生を送る為には，おまえ達の持っている体力を自然な方法で保護し，増強しねばなんねがんさ。もし病気になったら，原因を正しく判断し，誰でも持っている自然治癒力を精一杯使うて，出来るだけ自然な方法で，自然の法則に従って直すのが，いっちゃいいがんさ。そうするには，肉体だけでのて，感覚器官・精神，魂が今どんげな案配(あんへ)にあるか，いつでも自覚出来る様にして置かねばなんねがんだてば。そして，バランス良う保つのが，大事ながんさ。おまん達，どうだべね？」

「いやー。今迄いい加減に生きて来ちゃいましたよ。もう遅いかなァ？」

「これからでも遅ねがね。まず意識する事から始まるがんだすけ。おまん達も自分の身体ぐらい責任持ちなせや」。

「はい。今日は大変良いお話を本当にありがとうございました。」

次回は，健康な一日の過し方，について，語って下さるそうです。乞御期待!!



阿賀野川ラインの景勝地

きりん山温泉　ホテル　福　泉

磐越西線．津川駅・鹿瀬駅．下車バス10分
電話　02549－2－3131
（東蒲原郡鹿瀬町鹿瀬）

コトブキドライセンター
株式会社　寿
代表取締役　中村倉吉
（旧中第22回卒 五泉出身）
〒108　東京都港区高輪2－1－24
TEL　03（445）6501－2

永幸産業株式会社
代表取締役　伊藤勇五
（昭和23年旧中33回卒 鹿瀬町）
〒150　東京都渋谷区道玄坂2－16－8
TEL　（03）770－3291

"寄稿"

古希になるまで

旧中22回卒　亀　嶋　　謙

この程，私は所属のゴルフクラブからグランドシニアの印である赤いセーターを戴いた。

ゴルフクラブは，どこでも数え年でやる習慣だから，ありがたく戴いたが，どうもまだピーンとこないのである。もう自分も古希の仲間入りかと思うと嬉しいよりも寧ろ恥かしい気がする。五十代の頃まで古希と言えば随分と先のことのように考えていたものだ。そして自分も，その頃になると身体も弱るだろうなあと考えていた。愈々その年令に近づいたのだが，何の事もない。五十代とはそれほど変っていない。周囲の友人達に聞いてみると，みんな異口同音である。幾人かの人が病魔にとり憑かれてはいるが，皆元気である。それどころではない俺はまだ作ろうと思えば子供だってできるとか，なかには俺はまだ週一回位女房と実行しているなどと頗る意気軒高の人さえある。これにはさすが外の連中も驚いたり，羨ましがったりする。とにかく何処え行っても周囲にはまだまだ元気な先輩が沢山おられ，とても私共では老人の部類には入れて貰いそうもない。しかし，静かに振返って見ると，古希は人生にとって確かに大きな区切りであろう。

そこで更めて古希までの年月を分けて計算してみることにした。実は，この計算を数年前ある雑誌にあったのを読んだことがある。著者は外国人であった。そのとき，これは面白いと思って大凡そのことをメモしたおだが，そのメモを先年引越し整理の際，何処へか仕舞い込んでしまったとみえ，さがしても見付らないままである。それで記憶している限りの数字を頼りに書く始末となった。

さて，計算するのに前提が二つあった。一つは，七十年と言うけれども，その四分の一は寝て過す勘定であること，二つには，七十年の人生も，その10%に当る七年間に当る七年間は自我の発達しない年月である。よってこれを除くと六三年になる。そうしておいて，そこから食事の時間，身だしなみ（排泄も入る？）の時間，読書，気分転換，会議の時間等を引くと，働く時間は十一年位だと書いてあった。読んだ瞬間，へえー働く時間が，たった十年少し位のものだったのが意外に少ない数字に驚いた。もっとも，この数字には日本の会社特有の時間外勤務のようなものは含まれていないのではないかと思う。それにしても奇異の感が深かった。そうだったのか。おれは一つの会社に停年まで三十数年も働き，その上，二度目，三度目も勤めて働き実に四十数年，身を粉のようにして働き続けて来たんだと後輩に言ったり，身近の女房にもそう言って恩に着せたことさえある。それが詰めた計算をすると，なんのことはない大した年月でもなかったことになる。反って女房の方が結婚してもう四十年を越えたし，実稼働した年月は，私よりずっと長かったことになりはせぬか。余り威張れたものではなかったと，そのとき秘かに首を撫で廻した。まあ過ぎ去ったことだ。問題は，これからの人生のことである。これからの晩年をどう過すか，いやどう楽しむかであろう。これまでの人生は誰れしも苦労や困難があった筈だ。人には運不運というものがあって多少の違いはあったにしても順風一途などとは，どんな人にもないことだ。誰しも風雨の強いときも，孤独を強く感じたり，厭になることがあった。上る道は決して平坦ばかりでなく寧ろ辛らかった方が多かったに違いない。ところで人生は確かに生涯を真剣に考え，充実した人生の過すことが必要だろう。

人によっては，俺は死ぬまで働いて終るつもりだと意

気込んでまだ勤めている人もいる。

まあ立派なことで頭が下がる。しかし，そのようにやたらに厳しく考え，しかめ面で生涯を終えるばかりが人生でもないだろう。

この問題に就ても，仲の良い友人と，ときどき話合うことがある。みんな表向きは，これからの人生，何か有意義なことをやりたい，充実した人生で締めくくりたいとか，社会の片隅でほんの僅かでも世の中のためにプラスする人間として終りたいと言う人が多い。だが，具体的なこととなると，案外，身近かな楽しみ事で過しているらしい。最も多いのは健康増進をふくめて好きなことに打込み，その喜びを味っている人である。例えばゴルフとか，旅行，碁，読書会とか，まあこれが一番多い。感心な人もいる。一つの研究テーマに没頭している人とか，小さくとも社会的な仕事——例えば家庭裁判所とか，簡裁民事調停の仕事，社会福祉団体の仕事などに晩年を地道に捧げて奉仕している人がある。まことに立派なことだと思う。

自分自身は，どうなのかと言うと，どうやら前者の部類に近い。この三，四年来，目立つことは狭い庭だが朝夕僅かの時間でも植樹を見廻ってやり草取りに専念することに楽しみを見いだしていることだ。読書癖は昔からだが，これを近来，昔読んだ本の再読，三読の割合が殖えたことだ。もう一つ自分で変ってきたなと思うことは，若い頃から好きだった座右銘を掲げることに抵抗を感じてきたことだ。どうしてかと言うと，結局，揚げてみてもさっぱり実行できなかったという過去の苦い体験を後悔することが多く，これ以上自らを苦しめるようなことはやめたいということから来ている。要するに余りこだわらないことだ。極く自然でいいのではないか。

七十年の尊い人生体験は誰れしも言わずとも決して無にすることはしない筈だと自らに言い聞かせたい。駄目ならあっさり諦らめることだ。

そろそろ，人生最後の関心事である宗教問答——神仏の問題に就ても常に頭の中で去来している。いまの私には此の問題も，この大宇宙の創造者，ロゴスとしての神を認める段階にとまっている。分らないものを無理に納得しようとしても反って苦しむばかりだと考えている。あれやこれや結局のところ私には齢七十になっても不惑の人生感からは甚だ縁遠いということだ。情けないが致し方ない。これをまだ若いんだと考えてもいいと思う。それでも最近，人間に対してよりも大自然に対して少しづつ謙虚な気持になっていることを，せめてもの慰めにしている。　　（赤山会々長，平成元年二月記）

オムロン デジタル 自動血圧計

1. 左手人さし指を入れるだけで簡単に血圧測定
2. スタートスイッチを押すだけの全自動タイプ
3. 脈拍数もデジタル表示
4. 携帯に便利なハンディサイズ

￥25,000

割引価格については下記までお問合わせ下さい

株式会社
MEトレーディングセンター
〒113　東京都文京区本郷3-41-10
TEL 03-818-2496.　FAX 03-818-6448

（高10回卒　鶴巻　浩）

軍の思い出

旧制中13回生
水　尾　広　吉

昭63年の忘年会のとき，佐伯支部長から何か戦争の思い出を寄稿して欲しい旨の依頼があった。その際私は正直言ってあまり気がすゝまなかった。しかし帰宅して考えてみると，これは私の義務であることに気がつき，筆をとった次第である。

内容が広汎なので，次のように３回に分けて書きたいと思う。

1. **明治憲法と軍の開係**
2. **軍隊生活の細部**
3. **新憲法と自衛隊との関係**

Ⅰ以下明治憲法（明 22. 2. 1 発行）注１による軍の統師，編制・装備並に臣民の兵役義務について述べます。

1. 天皇ハ陸海軍ヲ統師ス。（第11条）
2. 天皇ハ陸海軍ノ編制及常備兵額ヲ定ム。（第12条）
3. 日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ従ヒ兵役ノ義務ヲ有ス。（第20条）

第一項は統師大権と言われるものである。大権とは天皇が直接行使される権限という意味である。この大権は一見何も問題がないように見えるが，非常に重要な内容をもっていた。その理由は陸海軍の意見が一致している時は問題が起きないが，意見が違った場合には天皇が直接陸海軍の意見を調整しなければならないからである。

その陸海軍は日清・日露戦役の勝利によって得た南満洲に於ける日本の特殊権益を守るため，懸命の努力を傾け，止むを得ず満洲事変を起こし，満洲国を作った。またソ連を仮想敵国とし，予想作戦場は満洲とした。一方海軍の仮想敵国は米国であった。（注２・３）

昭和12年11月，日独伊防共協定が成立し，日本は米英仏と対立状態に入った。この頃陸軍の一部急進派は独伊の勝利を信じて，昭和11年２月，いわゆる２・26事件を起こし，この事件をきっかけとして，陸軍は急速に第二次世界大戦への道をばく進し，遂に昭和16年12月８日，日本は米英蘭国に対して開戦した。（注３）

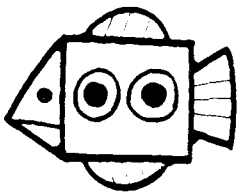
開戦当初は陸海軍の意見は一致していたので，作戦は陸海軍共に順調に進展した。然るに昭和17年６月５～７日のミッドウェー海戦に於て我が国は航空母艦四隻を失い，其後米軍が太平洋方面作戦に於て主動権を掌握した。（注４）この為陸軍は永年に亘って築きあげた満洲作戦を断念して，南方作戦に切りかえざるを得ない立場に追い込まれ，昭和20年８月遂に終戦となった。

4. 教　訓

昭和26年10月警察予備隊が創設され，次いで現在の自衛隊に発展したが，明治憲法の苦い経験を生かし，新憲法（注５）に基づき，次の二点が改善された。

1. シビリアンコントロール制の採用
2. 陸海空三軍より成る防衛大学校の創設

注１. 世界各国の憲法集，嵯峨野書院発行
注２. 伊藤博文，近代日本の政治家，講談社発行
注３. 大戦略なき開戦，旧大本営陸軍部参謀原四郎著，原書房発行
注４. ミッドウェー海戦，講談社発行現代世界百科大事典第三巻 675 頁
注５. 世界各国の憲法集，嵯峨野書院発行



予　告

本年度東京支部大会は

平成元年6月3日（土）午後3時　東京都渋谷区広尾3丁目12－15

〝羽沢ガーデン〟にて開催いたします　（Tel 03－400－6500）

同窓各位のたくさんの御出席をお願いいたします。

〔編集後記〕

会報6号を会員の皆様にお届けいたします。この会報を編集中に，世の中は昭和から平成へと時代がガラリ変りました。従って「臥龍が丘は緑なり」通巻6号は，平成元年新春号となりました。

昨年秋に組織委員会が設置され，その中に広報部が発足し会報6号から，編集作業にとりかゝりました。なにぶんシロウトの集りで，思うように出来ませんでした。ご不満や，お気付きの点も多々あると思いますので皆様方のご意見ご感想をお聞かせいたゞければ幸と存じます。なお会報の発行にあたりご投稿下さいました同窓の皆様方そして佐伯支部長，中村事務局長，塚田幹事をはじめ多くの方々のご支援ご協力を賜わりまして心より御礼申しあげます。

これからも広報部一同ガンバリますのでよろしくお願いいたします。

会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申しあげます。

広報部会報編集委員

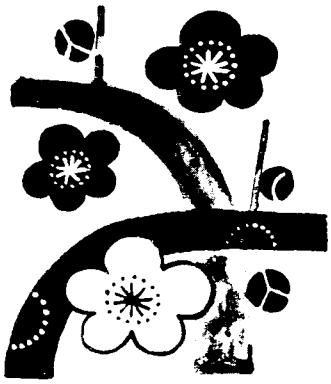
沢出赳允（高6回卒）　深見洋子（高7回卒）
堀　直昭（高8回卒）　鶴巻　浩（高10回卒）
大橋貞夫（高10回卒）　寺山征子（高10回卒）
真水道子（高10回卒）

（広報部会の皆さん）

編集部では，みなさんのお便りをお待ちしています!!

会報「臥龍が丘は緑なり」への寄稿お待ちしています。内容は自由です。紙面の都合上200字詰原稿用紙5枚以内でお願い致します。内容に関する写真やご本人の顔写真等もありましたらご同封下さい。

尚，同窓会や会報に対するご意見，ご感想もお待ちしています。より良い同窓会会報づくりのために皆様のご協力をお願い申上げます。次号（第7号）の原稿〆切りは平成元年4月末日です。　＜会報部会＞



広　告　募　集　!!

会報に掲載する広告を募集致します。村松高校同窓会東京支部発展へ向けての運営資金となります。ご協力お願い致します。

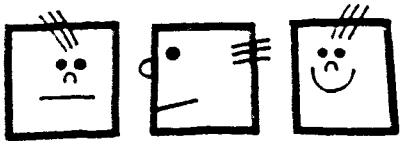
社名，社長名，業務内容等に関するコピー，所在地，電話番号，写真等原稿をお寄せ下さい。出来れば完全版下でのご寄稿を歓迎します。サイズはタテ50㎜ヨコ78㎜が5,000円。その他のサイズについては広報部までご相談下さい。

〔お願い〕

平成元年度の支部会費を頂く時期になりました。お手数でも同封振込用紙にて，ご送金下さるようお願いいたします。

年会費　3,000円

尚，支部会計不如意のおりから，寄付金等，各位の浄財をいくらかでも上乗せして頂ければ幸に存じます。



平成元年3月　　第6号

発行人：新潟県立村松高等学校同窓会東京支部

広　報　部

事務局　〒108　東京都港区高輪2－1－24 ㈱寿内

TEL　03-445-6501

郵便振替　東京　2－136445